

令和3年度 地産地消等優良活動表彰 受賞者リスト

○応募総数 93 件（生産部門 22 件、食品産業部門 43 件、教育関係部門 28 件）

うち受賞は 7 件（昨年度は、応募総数 88 件うち受賞は 8 件）

○受賞した 7 件の内訳

農林水産大臣賞 2 件、文部科学大臣賞 1 件、大臣官房長賞 3 件、全国地産地消推進協議会会長賞 1 件

		受賞者	取組の概要
農 林 水 産 大 臣 賞	生 産 部 門	<p style="text-align: center;"><small>さばえ</small> 鯖江市伝統野菜等栽培研究会 <small>さばえ</small> (福井県鯖江市)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2009 年に地元の農家有志で結成。 ・ <u>絶滅の危機に瀕していた、鯖江市の伝統野菜「吉川ナス」の栽培技術向上と伝承を図るため、県・市・JA の協力の下、年間約 4 万個収穫できるまでに復活。</u> ・ <u>吉川ナスは、学校給食に供給（1 万食/年）するほか、これを使ったナスバーガー及び吉川ナスはまなみそ等の加工品を地元の道の駅等と連携して製造・販売。</u> ・ 知的財産の保護を図るため、2016 年に地理的表示（<small>ジーアイ</small> G I）として登録済。
	食 品 産 業 部 門	<p style="text-align: center;"><small>いずぬま</small> 農業生産法人（有伊豆沼農産 <small>とめ</small> (宮城県登米市)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1998 年に創業し、翌年に法人化。 ・ 100 戸以上の地元契約農家で構成される「伊豆沼農産直売会」や、地元の養豚家で構成される「伊達<small>あかぶた</small>の赤豚会」等と連携して生産した農畜産物（米、野菜、果実、精肉等）や加工品（惣菜、ハム等）を直営の直売所やレストランで販売。 ・ 地産地消の理解増進を目的に、農業体験、食育体験、地域散策で歴史を学ぶ企画、出前授業でのウイナーづくり体験など、地場産農産物を使った PR 活動を実施。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">文部科学大臣賞</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">教育関係部門</p>	<p style="text-align: center;">い え そんりつ い え 伊江村立伊江中学校 <small>くがみ い え</small> (沖縄県国頭郡伊江村)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学のため15歳で「島立ち」^{しまだ}する子供たちに、故郷の食味と島への愛着を根付かせるため、村をあげて地産地消の取組を実施。 ・中学3年生を対象とした魚料理教室の開催、伊江島^{いえじま}牛や地元の黒砂糖の給食提供、地産地消の弁当作りなどを実施。
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">大臣官房長賞</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生産部門</p>	<p style="text-align: center;">しろう農園 (株) (沖縄県宮古島市)</p> 

食品産業部門	<p style="text-align: center;">スターフーズ (株) (大分県宇佐市)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇佐パン粉有限会社の販売部門の関連会社として 1978 年に設立。 ・①地元農家や大分大学等と連携し 8 年かけて確立したパン用小麦品種ミナミノカオリ（農研機構が西日本向けに開発）の生産技術、②全量契約取引の実施、③独自の作付け奨励金制度により、市内の作付け規模が大幅に拡大（10 年で 12 倍。20ha →240ha）。 ・「南の大地」ブランドを立ち上げ、無添加パン粉や冷凍ピザ等の加工品にして、県外含め 50 社と取引中。 ・学校給食には毎月 1 回、アレルギー対応のパンを納入。
教育関係部門	<p style="text-align: center;">群馬県立勢多農林高等学校 (群馬県前橋市)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元農家と連携し、田植え・収穫・販売の一連の農業体験を授業で実施。2018 年以降農業クラブ活動として、生徒が主体的に草刈りなどの管理作業を実施。 ・収穫したコメは、同市内の児童遊園地「るなばあく」で販売するおむすびに使用するほか、高校の文化祭と農業まつりで販売するおにぎりやカレーライスに使用。
全国地産地消推進協議会会長賞	<p style="text-align: center;">稲作本店 (栃木県那須郡那須町)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培を担う(株)FARM1739、及び加工・販売を担う TINTS (株)の 2 社（両社の代表は同一）が、共同で立ち上げたブランド「稲作本店」により、オリジナル商品（自家とう精した農家直送米、米粉、米菓、甘酒等）の開発・製造を行い、EC サイト、地元ホテル及び観光施設等で販売。 ・「食」と「農」を近付けるため、SNS やクラウドファンディングを活用した稲作のほか、「田んぼでカフェ」や「田んぼで CAMP」の開催、近隣ホテル等と連携した農業体験プログラムの企画運営、地元小学生の職業体験受入れや出前授業を実施。